



所得税の特別修繕費の金額 又は期間の認定申請書

____ 税務署長殿

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日提出

納 税 地	住所地・居所地・事業所等(該当するものを○で囲んでください。)		
	(TEL _____)		
上記以外の 住 所 地 ・ 事 業 所 等	納税地以外に住所地・事業所等がある場合は書いてください。		
	(TEL _____)		
フリガナ 氏 名	フリガナ 屋 号	生 年 月 日	大正 昭和 平成 年 月 日生
職 業			

平成 ____ 年分から次の資産について特別修繕準備金の積立てをしたいので、積立限度額の計算の基礎となる特別修繕費の金額(月数)の認定を申請します。

1 認定を受けようとする資産の明細

区 分	申 請 資 産	類 似 資 産 (所有者)
資 産 の 種 類		
構 造 又 は 用 途		
細 目		
名 称		
所 在 す る 場 所 (船 籍 港)		
ト ン 数 又 は 容 積 量		
建造年月日又は築造年月日		
中古資産を取得した場合は その年月日及び前所有者名	(前所有者 _____)	
建造(築造)年月日からの 経 過 年 数		
類似資産について最近に行 われた特別修繕完了の日		
同上に要した特別修繕費の 費 用 の 額		
認定を受けようとする 特別修繕費の金額		
最近に行われた特別修繕完 了の日からその直前の特別修 繕完了の日までの期間		月
認定を受けようとする月数		月

2 その他参考事項

関与税理士

(TEL _____)

税 務 署 欄	整 理 番 号	関 係 部 門 絡	A	B	C	D	E
	0						

書 き か た

- 1 この申請書は、青色申告者が船舶、溶鉱炉等の特別修繕準備金の積立限度額の計算の基礎となる特別修繕費の金額及び期間（月数）の認定の申請をする場合に提出するものです。
- 2 この申請書には、特別修繕費の金額及びその期間の月数の計算の基礎の詳細を記載した書類を添付してください。
- 3 この申請書の各欄は、次のように書いてください。
 - (1) 「類似資産」欄には、この認定を受けようとする資産（以下「申請資産」といいます。）について特別修繕を行ったことがない場合に、種類、構造、容積量（トン数）、建造（築造）後の経過年数等が、その申請資産と類似する資産（以下「類似資産」といいます。）の最近に行った特別修繕の費用の額、その直前の特別修繕からの期間を基礎として認定を申請する特別修繕費の金額及び期間を書きます。

また、その類似資産が他の者の所有するものであるときは、その所有者名を（ ）の中に書いてください。
 - (2) 「所在する場所」欄には、船舶の場合は、船籍港を書きます。
 - (3) 「最近に行われた特別修繕完了の日からその直前の特別修繕完了の日までの期間」欄の期間の月数は暦に従って計算し、1月に満たない端数は1月として計算してください。